

だい かい どうじょう 第1回きた eco道場まとめ

まも 森を守ろう！ かんぱつざい つく ～間伐材でコースターを作ろう～

1 森は みんなを たすける すごい場所

森には、木や草、花、虫、鳥、どうぶつなど、たくさんのいのちがくらしています。森の木は、くうきをきれいにしてお手伝いをしたり、雨の水を土の中にためたりして、わたしたちのくらしをささえています。森は、ちきゅうやまちにとってたいせつな場所です。

2 木を じょうずに 使うと 森が元気になる！

森では、木がげんきに育つように、こんでいる木を少し切って手入れすることがあります。そのときに出る木を「かんぱつざい」といいます。木はそだつあいだに、くうきの中のにさんかたんそ二酸化炭素を取りこみ、木の中にたくわえています。だから、かんぱつざい間伐材をすぐにすてず、コースターなどに大切に使うことは、森をげんきに、ちきゅうまも地球を守ることにもつながります。

3 森のことを知って、できることを はじめよう！

森は、山の中だけにあるとお ばしよ遠い場所のように見えても、雨や川、水を通して、わたしたちのまちやくらしにつながっています。森のはたらきを知ることは、ちきゅう しぜん地球や自然を大切にす第一歩です。今日学んだことをおうちの人に話したり、木や紙を大切につかったりすることも、森をまも守ることにつながります。これからできることを、少しずつはじめてみましょう。